

(1) 保存地区の概要

地 区 名	若桜町若桜
種 別	商家町
面 積	約9.5ヘクタール
選定年月日	令和3年8月2日
特 徴	若桜町若桜伝統的建造物群保存地区は、17世紀初期に廃城となった若桜鬼ヶ城の城下町を起源とし、旧若桜街道沿いの宿場としての機能を持ちながら近郷の物資の集積地として栄えた商家町。明治18年の大火後の復興計画に基づいて建てられた伝統的な町家や、敷地背面に連続する土蔵等、防火を考慮して形成された町並みとともに、町内を流れる八東川から取水したカワが保存地区内を流れ、歴史的風致をよく伝えている。

(2) 保存地区の概要

平成8-9年(1996-97) 鳥取県近代化遺産総合調査
 平成10年(1998) カリヤ通り・蔵通りが県民の建物百選認定
 平成12年(2000) 町並み整備調査
 平成16年(2004) 鳥取県近代和風建築総合調査
 平成19年(2007) 「美しい日本の歴史的風土準百選」に選定
 「若桜清流通り」名で夢街道ルネッサンスに認定
 平成24年(2012) 昭和小もちゃ館開館
 平成26年(2013) 木島家住宅主屋が国登録有形文化財に登録
 平成27・28年(2015-16) 伝統的建造物群保存対策調査
 平成27年(2015) 若桜民芸館・若桜迎賓館開館
 平成30年(2018) 若桜町伝統的建造物群保存地区保存条例制定
 令和3年(2021) 保存地区決定・保存活用計画策定(2月)
 重要伝統的建造物群保存地区選定(8月)
 修理修景事業開始



(3) 保存地区の保存と整備

○修理修景件数

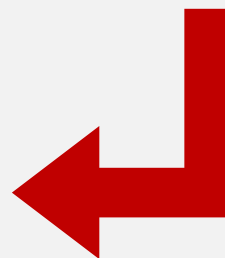
	修 理	修 景
令和3年度 (単町費)	1件	4件
令和4年度 (予定)	1件	3件



修理中



修理後



(4) 保存地区の活用とまちづくり

空き家を活用した施設整備

- ・ 飲食店の整備(休憩交流処かりや)
- ・ 昭和おもちゃ館整備による親子連れの集客
- ・ 若桜民工芸館整備による地元工芸品のPR 等



昭和おもちゃ館



若桜民工芸館内部

(5) 住民等の取組

○裏町通り沿いの行燈灯し

盆前後に町商工会が中心となって裏町通り沿いと駅前に行燈を設置。



○若桜神社大祭(町指定無形民俗文化財)

隔年の5月3日に3基の神輿・神などが保存地区内を練り歩く。
各自治会が持ち回りで大祭委員会を組織し、準備を行う。

